



建築構造技術者のための連続講習会(秋)

期 間：平成19年9月5日(水)～11月21日(水)

会 場：日本鋼構造協会会議室(東京)

主 催：社団法人 日本鋼構造協会

協 賛：社団法人 日本建築構造技術者協会 社団法人 鉄骨建設業協会 社団法人 全国鐵構工業協会

本講習会は、入社5年目までの初級技術者が、これまでの経験をもとにさらにレベルアップを図るための講座で、a. 設計コースとb. 製作・施工コースの2コースに分け、きめ細かな対応を取っています。

講師陣には、学識経験者及び各業界の経験豊かな実務経験者をお招きして、鉄骨構造物の設計、製作、鋼材、溶接、品質管理、施工等の各テーマについて理解を深めていただくことにしており、一企業では困難な鋼構造の一貫した流れをトレースする形での本講習会は、初級技術者が中堅技術者として飛躍するための知識を得る最適な機会とご推奨いたします。各位におかれましては、奮って受講者を派遣頂きますよう、ご案内申し上げます。

■開催要領

コース	期 間	開 催 時 間	会 場
a. 設 計	平成19年 9月5日(水)～10月10日(水)	18:00～20:00	日本鋼構造協会 AB 会議室 新宿区四谷3-2-1 TEL: 03-5919-1535
b. 製作・施工	平成19年 10月17日(水)～11月21日(水)	(質疑応答も含む)	

■受講料(消費税込み)

コ ー ス	本会会員・官公庁・協賛団体会員	一 般
a. 設計コース	18,900円	28,350円
b. 製作・施工コース	15,750円	23,625円

■プログラム

(時間割・講師等は都合により変更する場合がありますので、予めご了承下さい。)

a. 設計コース		120分/回	対象者	設計事務所、ファブ、ゼネコン
回	題 目	主 な 内 容		
1	9月5日(水) ■構造用鋼材 講師：永田 匡宏 (新日本製鐵)	① 鋼材のできるまで ② 機械的性質と構造特性の関係/降伏比 ③ 化学成分とその影響/耐久性/表面処理 ④ 構造用鋼材の種類と使用法/特性と破断		
2	9月12日(水) ■接合部の設計 講師：田中 淳夫 (東京電機大学)	① 接合法 (溶接接合と高力ボルト接合) ② 接合部設計の基本、保有耐力接合、接合部係数の意味 ③ 各種の継手 ④ ブレース端接合部、柱梁接合部 ⑤ 柱脚		
3	9月19日(水) ■構造設計(Ⅱ) 講師：北村 春幸 (東京理科大学)	① 1次設計と2次設計 ② 保有水平耐力の検討 ③ 限界状態設計と時刻歴応答解析 ④ 制振構造免震構造		
4	9月26日(水) ■各種構造部材の設計 講師：山崎 真司 (首都大学東京)	① 許容耐力、降伏耐力、全塑性耐力、最大耐力 ② 引張り材、圧縮材、筋かい材 ③ 曲げ材(梁)、曲げと軸力を受ける材(柱) ④ 振り、板要素の座屈		
5	10月3日(水) ■構造設計(Ⅰ) 講師：寺本 隆幸 (東京理科大学)	① 構造設計の基本 ② 鉄骨構造の特徴(工業製品/工場加工/運搬) ③ 力の流れとディテール		
6	10月10日(水) ■鉄骨部材の製作管理と建物の維持管理 講師：越田 和憲 (清水建設)	① 現寸図と加工図 ② 組立て検査の意味とポイント ③ 入熱・パス間温度 ④ 超音波探傷検査 ⑤ 寸法検査と外観検査 ⑥ 鉄骨製作工場の認定制度 ⑦ 検査会社のランクと実力 ⑧ LCCと維持管理		

次 ページ を ご 覧 下 さ い。

b. 製作・施工コース		120分/回	対象者	ファブ、ゼネコン、設計事務所
回	題 目	主 な 内 容		
1	10月17日(水) ■建築鉄骨全般 講師：田川 泰久 (横浜国立大学)	① 鉄の利用の歴史(利用の歴史、鉄と鋼、鋼材の種類)		
		② 鉄骨構造物の特徴(力学特性)		
		③ 鉄骨生産に関わる業種の構図及び法の体系(鉄骨の産業構造、関係法令、認定関係、資格関係)		
		④ 鉄骨工事の全体的な流れ		
2	10月24日(水) ■材料(鋼材) 講師：永田 匡宏 (新日本製鐵)	① 現在の製鉄技術		
		② 鉄骨部材の製造法(鋼板、形鋼、デッキほか)		
		③ 鋼材の性能		
		④ 鋼材の防食技術		
		⑤ 鋼材の耐火技術		
3	10月31日(水) ■溶接 講師：松下 真治 (松尾橋梁)	① 溶接の種類(手溶接、半自動溶接、自動溶接)		
		② 溶接施工法(裏当て、スカラップ、ノンスカラップ)		
		③ 溶接の管理(入熱、パス間温度)(欠陥と力学性状)		
		④ 溶接の検査(外観検査、超音波探傷検査)		
4	11月7日(水) ■高力ボルト接合 講師：田中 淳夫 (東京電機大学)	① 高力ボルトの種類(JIS形、トルシア形、めっきボルト)		
		② 高力ボルト接合部の力学特性		
		③ 高力ボルトの施工法		
		④ 高力ボルト接合部の検査		
5	11月21日(水) ■工場製作から現場施工まで (工程と管理) 講師：松崎 博彦 (日本溶接構造専門学校)	① 工場製作から現場施工までの各工程の概要(工作図・現寸・前加工・組立・溶接・検査・塗装・輸送・現場施工)		
		② 製作管理(製作要領書、各工程の管理ポイント)		
		③ 現場施工管理(施工要領書、建入れ精度、目違い、現場溶接)		
		④ 品質管理(管理手法、管理データ)		
		⑤ 不具合の対応(不具合の実例とその対応)		

■ 定員・申込期限

コース	定員	申込期限	各コースとも定員になり次第締め切らせて頂きます。 講習内容並びに講師に変更が生じる場合もあります。 予めご了承下さい。
a. 設計コース	40名	8月24日(金)	
b. 製作・施工コース	40名	10月5日(金)	

■ 申込方法

別紙「受講申込書」にてお申し込み下さい。

■ 問い合わせ先

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-2-1 四谷三菱ビル9階
 社団法人日本鋼構造協会 講習会係
 TEL: 03-5919-1535/FAX: 03-5919-1536
<http://www.jssc.or.jp/>

次 ページ を ご 覧 下 さ い。

建築構造技術者のための連続講習会 受講申込書

a. 設計コース b. 製作・施工コース

申込方法：本受講申込書に必要事項を記入の上、受講料の払込証明書と共に、以下の申込先へFAXまたは郵送にてご送付下さい。受講料の払込みを確認後、受講券を送付致します。なお、領収書は郵便局払込票兼領収証を以って替えさせていただきます。

申込先：**社団法人 日本鋼構造協会 講習会係**
住所 〒160-0004 新宿区四谷 3-2-1 四谷三菱ビル9階
FAX:03-5919-1536 TEL:03-5919-1535

1. 申込書（楷書でご記入願います。）

貴社名／事業所名： _____

住所：〒 _____ 都道府県 _____

電話： _____ FAX： _____ ご担当： _____

E-mail： _____

◎受講コース：下表の受講されるコース（a. 設計コース b. 製作・施工コース）を○で囲んで下さい。

受講コース	氏名	所属部署・役職名	金額
a・b			円
a・b			円
a・b			円
a・b			円
合 計			円

2. 受講料の支払方法

『郵便振替払込』 _____ 円（払込日 月 日）

口座番号：00140-6-99826 加入者名：社団法人日本鋼構造協会

- ・払込料金は貴社にてご負担願います。
- ・受講料は理由を問わず返却致しません。

3. その他

- (1) 会場へは受講券を必ずご持参下さい。
(会場受付にて受講券（正）と交換します。)
- (2) 申込者数が定員に達した段階で、申し込みは打ち切らせて頂きます。
- (3) 申し込み期限間際にお申し込みされる際は
お電話にてご確認ください。

郵便振替払込を証明できる払い込み証明書等のコピー
をここに貼付して頂くか、別紙としてファックス願いま
す。

以上